



今日はいい天気だ。

暖かく伝える文章が好きだ。

いつもなら見過ごしてしまう些細なことを、心あつたまるお話にしてしまう。

ある本をを読んでことさら散歩に出たくなった。

ウォークマンをまず持って、乗る電車を調べて、そうやって外に出るのが当たり前になっている毎日。

そんな機械的なことは全て置いて、ちょっと外を歩いてみたくさせてくれる。

だから今日はウォークマンの電源を切ったんだ。

今僕は現実逃避に、近くのとても大きな公園に読書しにきている。

日曜日の昼間ともなれば公園に来ている人は様々だ。

インラインスケートでくねくねしてる人。子供と一緒にキャッチボールをしているお父さん。葉と葉の間の気持ちよさそうな木漏れ日が当たる日陰で、寝ている熟年夫婦。自分とそう年の瀬の変わらないだろう新婚さん。BBQをする家族。愛犬を連れてどちらが散歩させられてるのかわからないおばちゃん。公園を徘徊しているのかパトロールしているのかわからない警備員さん。

あー気持ちいい。風も楽しそうにふいている気がする。秋の花粉を目一杯吸い込んで花粉症にでもなってやろうか。と、ふと携帯で文字を打っていたら小さなごみ虫が右手の甲にに止まった。

どこに行かれるのですか？

と聞いたら、

どこに行くんじゃい？

と同じ事を聞かれた。

僕が答えに詰まっていると、そんな僕をしりめに彼はまた何処かへ飛んで行ってしまった。

遠くの方でカラスの音が聞こえる。虫がなく音が聴こえる。トランペットの音もする。

近くで自転車のちりんちりんが鳴ってはっと目が覚めた。

今日はいい天気だ。